

# 全国連盟通信

第30期 No.1  
2012年 5月1日  
発行責任者  
和食昭夫



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: cbf31680@pop02.odn.ne.jp URL <http://www.njsf.net>

つながり 支援の輪

## 全国総会の成功を力に 「スポーツの仲間づくり運動」とスポーツ権実現にチャレンジしよう ＝第30期のスタートにあたって＝

新日本スポーツ連盟理事長 和食昭夫



3月10日、11日に開催された新日本スポーツ連盟第30回定期全国総会は、「スポーツ権実現をめざし協力・共同をすすめ、創立50周年を飛躍的な前進の中で迎えよう」という決議案にもとづき、明るさと確信に充ちた討論が行われ、新たな出発の場として成功しました。全国総会決議の具体化と実行に全力をあげたいと思います。

暮しの面でも仕事の面でも被災者の復興はこれからが正念場です。その際、健康とからだを動かす楽しみやスポーツを通じた交流を大切にしたいものです。スキー協議会が、被災地の子どもたちを招待して取り組んだ春休みのスキー教室は、種目を超えた支援に支えられ、貴重な成功をおさめました。スポーツ環境の改善、各種の出前大会、出前行事などスポーツを通じた支援活動をすすめてつ、今年開催する東北復興支援第29回全国スポーツ祭典を被災地の仲間とともに大きく成功させましょう。

スポーツ施設の減少が地域の日常的なスポーツ活動の大きな障害となっています。スポーツ権を明記したスポーツ基本法とスポーツ愛好者、クラブ、スポーツ団体の運動が結びついてこそ本格的なスポーツ権実現が進みます。スポーツ施設の整備などの課題実現のため、幅広いスポーツ団体、スポーツ関係者の共同を前進させるというスポーツ連盟の役割を大いに発揮しましょう。

人間的な暖かさや連帯に充ちた「スポーツの仲間づくり運動」をダイナミックにすすめることは、スポーツ愛好者と国民のスポーツへの関心の高まりに応えるものです。この取り組みを通じて、空白県に県連盟を確立と『スポーツのひろば』の普及に大いに力を注ぎましょう。さらに、種目、地域、クラブから草の根の国際交流をアジアの軸に世界に広げる活動にもとりくみます。創立50周年めざし大いにチャレンジすることをよびかけます。

第1回理事会

## チームプレーで 一步一步前進を

4月14～15日、第30期第1回理事会を行いました。自己紹介から始まった第1回理事会は、新理事の皆さんはもちろん、継続して活動する理事の方々を含め、新鮮な発想と意欲が示され発揮される場となりました。「スポーツ権実現をめざし協力・共同をすすめ、創立50周年を飛躍的な前進の中で迎えよう」という第30回総会決議を実際の活動に移すために、各理事の分担をきめました。いよいよ実践です。



取り組むべき課題は明確です。多様なスポーツ活動と空白県での県連盟の確立、スポーツ基本法を生かし拡充しながら国民のスポーツ権実現すること、スポーツ連盟とスポーツ愛好者・クラブをつなぐ機関誌「スポーツのひろば」の普及と誌面の充実、人権と反核・平和を軸とした草の根の国際活動の展開、



これらの活動全体を貫く共通の課題としての被災地・被災者へのスポーツを通じた継続的支援の強化、とりわけ、東北復興支援をかかげて開催する第29回全国スポーツ祭典の取り組みです。

これらの課題は、一つ一つバラバラにあるのではなく、相互に関連しあって、全体として、「人間的な暖かさと連帯」に充ちたスポーツの場、スポーツ連盟を豊かに発展させるものとなるでしょう。

第30期の理事会は、一人一人の可能性を尊重し合いチームプレーを発揮して、これらの課題推進のために活動していくことを確認しました。

いま、それぞれの連盟組織は、総会や役員会を持ち、一年間の活動目標と活動計画を立て、この春のスポーツ活動に大忙しの時期、躍動する時期にあると思います。こうした活動を、創立50周年の2015年を前進の中で迎えるための「スポーツの仲間づくり」運動と結びつけ、一步一步前進するために、ぜひ皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

新事務局長そして理事の皆さんとともに、私もベストを尽くしたいと思います。

(理事長 和食昭夫)

### 【第1回理事会の概要】

東京都豊島区の雑司が谷地域文化創造館及び東部区民会館に、役員・理事36名が出席して開催されました。第30回全国総会の総括では、《表1》の概要報告の他、基本的評価・総会運営等の議論を経て、総会の在り方を改善するための検討がされました。なお、総会報告集は4月末の発行予定です。

第30期理事会の体制・分担・運営は、総会方針を具体化するために、3ページのとおり理事会の任務分担を決定しました。会長・理事長は直接局を担当せず、必要に応じて各局の会議に参加します。また、各局には局長と局次長（複数可・変更や追加も可）を置き、方針の執行にたずさわります。各局の取り組みについては、4ページ以降をご覧ください。

#### 《表1》第30回総会概要

★出席代議員=91名

都道府県:21組織 60名

全国種目:11組織 31名

定数 119名出席率 76.5%

★役員=38名 傍聴=5名

★来賓=4名 報道=3名

★メッセージ=団体 13 個人 11

★議決結果

第1号議案=反対 0、保留 1、賛成 90

第2号議案、第3号議案=全会一致

★発言者数 32名、文書発言2名

全国総会で第30期役員が選出され、第1回理事会で任務分担を決定しました。

No.	役職	氏名	選出基盤	担当部局	ブロック 責任者
1	再 会長	永井 博	理事会		
2	" 副会長	川野 弘之	"	スポーツ権・平和運動局	
3	" "	水門 輝一	"	スポーツ活動・組織局	
4	" "	野口 信彦	"	国際活動局	
1	再 理事長	和食 昭夫	理事会		
2	" 副理事長	青沼 裕之	"	スポーツ権・平和運動局長	
3	" "	石川 正三	全国スキー協議会	総務局	
4	新任 "	伊藤 司男	岩手県連盟	スポーツ活動・組織局	東北
5	新任 "	岩波 道子	全国卓球協議会	スポーツ権・平和運動局次長	
6	再 "	北川 登	全国卓球協議会	スポーツ活動・組織局長	北信越
7	" "	斉藤 義孝	日本勤労者山岳連盟	スポーツ活動・組織局次長	
8	" "	萩原 純一	東京都連盟	スポーツ活動・組織局次長	
9	" "	渡辺 紀雄	大阪府連盟	スポーツ活動・組織局	関西
10	新任 事務局長	福島 邦夫	理事会	広報局長、 総務局長	
11	再 理事	青嶋 繁太郎	理事会	スポーツ活動・組織局	
12	新任 "	浅沼 義明	千葉県連盟	スポーツ権・平和運動局	
13	再 "	天川 有美	全国テニス協会	スポーツ活動・組織局	
14	新任 "	伊賀野 明	理事会	国際活動局長	
15	新任 "	池田 誠	全国野球協議会	スポーツ活動・組織局	
16	再 "	板垣 美和子	理事会	総務局次長	
17	新任 "	大友 津代	宮城県連盟	スポーツ活動・組織局	
18	再 "	岡本 清	愛知県連盟	広報局	
19	" "	神田 孝	福岡県連盟	スポーツ権・平和運動局	九州
20	新任 "	間間 至	東京都連盟	スポーツ権・平和運動局	
21	再 "	小林 章子	東京都連盟	国際活動局次長	
22	" "	佐藤 信樹	理事会	広報局、 総務局	
23	" "	城川 善行	理事会	総務局	
24	" "	竹折 富美子	全国卓球協議会	広報局、 総務局	
25	" "	田中 宏子	全国スキー協議会	広報局	
26	" "	富内 佳男	徳島県連盟	スポーツ活動・組織局	四国
27	" "	長井 健治	理事会	国際活動局	
28	" "	永谷 祐一	全国テニス協会	広報局次長	東海
29	" "	根岸 清和	全国ランニングセンター	スポーツ活動・組織局	
30	" "	橋本 圭司	全国サッカー協議会	スポーツ活動・組織局	
31	新任 "	花村 哲也	日本勤労者山岳連盟	国際活動局	
32	再 "	松岡 陽治	京都府連盟	広報局	
33	新任 "	三木 正弘	全国ウォーキング協議会	スポーツ活動・組織局	
34	再 "	吉成 克実	神奈川県連盟	スポーツ権・平和運動局	
35	" "	脇村 元夫	理事会	総務局	
36	新任 "	和田 利男	兵庫県連盟	スポーツ権・平和運動局	
1	再 監事	松浦 七郎	全国スキー協議会		
2	" "	宮久保 加乃子	全国水泳協議会		

【リーダー養成委員会：石川（責任者）、天川、小林、佐藤、脇村、福島】

【スポーツ科学研究所準備委員会：永井（責任者）、青沼、石川、和食、福島

委嘱委員＝中村哲也（研究者・歴史学）、伊藤高弘（顧問）、新村博信（元体育教師）】

【スポーツのひろば企画編集委員会：佐藤（編集長・責任者）、永谷、野口

委嘱委員＝西條晃（副編集長・東京水泳）、青木太郎（全国テニス）、岸佳子（東京水泳）、

小林一美（東京ランニング）、萩原栄一（東京スキー）、中村哲也（研究者）、向田奈保（新聞記者）、  
一柳英男、桂伸也、山口優希（スポーツライター）、堀口初美（ライター見習い）】

編集協力＝武田健一（表紙デザイン）、小柴晃（校正）、海野茂（編集作業補助）

【国際活動局委嘱委員：佐藤静雄（局次長・全国RC）、佐藤好行（神奈川RC・韓国）、

松野俊一（サッカー協）、山口俊彦（スキー協・仏）、石川正三（スキー協）】

## スポーツの仲間づくり 運動をダイナミックに

### 1、「スポーツ懇談会」を旺盛に開催する

2015年の創立50周年を目途に、すべての空白県で現在ある種目組織、繋がりのある関係者をベースに「スポーツ懇談会」を開催し、スポーツ連盟の考え、理念を関係者に広くアピールしていきます。そこから新しい運動の担い手や理解者を発掘し、県連盟づくりや競技大会、教室、講座などの開催の可能性を追求します。当面、県連盟づくりの可能性が非常に高い「広島」で動きを作る予定です。(その後は青森→福島→群馬→奈良→熊本)



### 2、「出前大会・活動」を広げる

スポーツ連盟の組織のない地域に出向いて行う「出前大会」は、連盟を知らない愛好者に活動を知らせる出会いの場にもなります。「空白組織対策事業助成制度」をおおいに活用し、以下の各ブロックで出前大会を開催するよう取り組みます。

#### ①北海道

札幌近隣の小樽市、旭川市でミックスポレーボールなど新しい種目の活動を開催します。

#### ②東北ブロック

東北全県で卓球祭典(予選)、バドミントン大会を福島、バレーボール大会を山形で開催します。

#### ③関東ブロック

群馬、茨城で県連盟づくりを展望しながら、5種目以上の種目で祭典の開催をめざします。

#### ④東海ブロック

静岡県連盟の統一的機能を図るようになります。

#### ⑤北信越ブロック

石川、富山、長野で新しい種目に挑戦します。

#### ⑥関西ブロック

野球・卓球を中心に奈良県連盟結成をめざします。

#### ⑦中国ブロック

中国ブロック5県に県連盟組織がないという現実をリアルにみて、その中心的な県である広島に集中してスポーツ活動を展開します。

イ、広島 毎年平和のためのスポーツマンのつどいを開催するなど連盟となにかと縁のある土地柄です。この広島に、中国地方の拠点として早急に県連盟づくりすることは、焦眉の課題です。現在、卓球大会を福山市を中心に年3回開催していますが、他の種目でも出前大会を計画します。

ロ、岡山 労山、野球協議会、卓球協議会がそれぞれ活動していますが、もう1種目増やし、県連盟づくりを促進します。

#### ⑧四国ブロック

ブロック会議を開催し、新しい広がりを作ります。卓球は、初めて高知県で祭典開催をめざします。また、愛媛県での出前大会を計画します。(現在卓球だけが出前大会を開催)

#### ⑨九州ブロック

福岡県連盟と全国種目組織が手を携え、空白地域が多い九州で出前大会を広げます。卓球では大分、熊本、佐賀と少しずつ広げてきました。以前に、テニスは熊本で種目組織を立ち上げた経験もあるのでまたチャレンジします。

### 3、新しい分野の愛好者への取り組みを強める

①まだスポーツ連盟の存在を知らない愛好者に対してスポーツ連盟との出会いの場を多く作り、スポーツの楽しみを広げます。

②全県を視野に入れた活動の広がりをつくります。

③高校生以下のジュニア層で活動の広がりを作ります。ジュニア大会、教室などの開催を広げます。その際、顧問や地域クラブ指導者との懇談を通じてよりに実態に即した活動を充実させます。

④女性分野では、卓球のレディース委員会や労山の女性委員会の活動が見られるが、他の種目地域でも女性独自の活動を広げます。

(スポーツ活動・組織局長 北川登)

## 国民のスポーツ要求と権利を実現する運動を

第30期のスポーツ権・平和運動局の重点的取り組みは以下の通りです。

第1に、スポーツ基本法施行の下で国民のスポーツ要求と権利を実現する運動を、他団体と協力協同して進めること—①「スポーツ基本計画」および「地域スポーツ推進計画」の立案に向けて、全国連盟および都道府県連盟は、地域住民のスポーツ要求や必要な課題を公にして、その影響力を行使すること、②「地域スポーツ推進計画」の立案を念頭に置いて、都道府県連盟内でスポーツ基本法の学習会を組織するとともに、「自治体への要求運動」の強化を図ること。

第2に、反核・平和マラソンの取組—①脱原発および再生可能エネルギー政策への転換を求める国民的運動と連帯して、反核・平和マラソンの取組を進展させること、②国民平和大行進に積極的に取り組むこと。

第3に、「原発ゼロをめざす」国民的運動に積極的に参加すること—①スポーツ施設の放射線量調査を独自に進め、除染のための措置を政府や自治体に要請すること、②環境問題に対するスポーツ連盟としての活動方針を作成すること。

第4に、その他の活動として、①2020年オリンピック・パラリンピック東京招致への対応、②「スポーツ9条の会」への協力。

上記第1の取り組みについては、以下の準備を進

めます。

2012年内に大阪府連盟と協力して「大阪維新の会による大阪都構想と地域スポーツ推進計画の今後」（仮題）のシンポジウムもしくは討論会を企画・開催します。また、「自治体への要求運動」を独自に実施してきた都道府県連盟、また意志はあっても実施できていない県連盟と協同して、スポーツ基本法の学習を組織・開催し、それと連動させて県連盟としての要求項目を具体化・とりまとめをする会議を開催します。

第2の取り組みについては、8月5日（夜）の広島集会を「広島～長崎反核平和マラソン」の前夜祭と各地の交流を目的に開催する。2012年広島～長崎反核平和マラソンに福岡実行委員会と全国ランニングセンターの協同でFSGTと韓国体育市民連帯を招待します。2015年の「東京～広島～長崎反核平和マラソン1500km」開催に向けて、各ブロックで計画的な準備を進めます。

第3の取り組みについては、まずは、8月の理事会において、日本のエネルギー政策の転換と環境保護についての講演・学習会を開催します。それを総括したうえで、しかる時期を見計らって討論会等を企画します。

第4の取り組みについては、今年5月に開催されるIOC理事会において東京都が正式立候補都市として残された場合、連盟としても他団体と協力協同して、声明を発表するなどの何らかの対応をします。ちなみに、2020年五輪開催都市は2013年9月のIOC総会で決定されます。

（スポーツ権・平和運動局長 青沼裕之）

## 東北復興支援第29全国スポーツ祭典

7月8日 秋田駒ヶ岳登山で開幕!

開幕が3カ月早くなったことで、ポスター作成、プログラム作成が当初の予定より早まりました。

- ①自治体の後援要請
- ②応援メッセージの依頼
- ③協賛広告の依頼

を確実に5月中旬までに確定しなくてはなりません。ご協力をお願い致します。

復興支援グッズ

「消せるボールペン」8000本突破!

追加注文を受け付けています。4月23日、5000本が新たに入荷しました。スポーツ連盟の全組織で、被災地からの祭典参加者の支援活動として「消せるボールペン」を普及して下さい。10000本販売して、100万円の支援金が生まれます。東北から出場する選手への支援を成功させましょう。



▼後援が確定した自治体  
和歌山県・和歌山県教育委員会  
(ウォーキング)  
岡山県・岡山市教育委員会  
(卓球)

国際活動局

## 国際的なスポーツ運動の舞台に立つために

### 1、創立 50 周年までの国際交流事業の配置の整理

スポーツ連盟は、この間フランスの FSGT、韓国の体育市民連帯等との交流を持ち、両団体とのスポーツ運動面での交流、スポーツ大会交流などを進めてきました。これらの双方の利益にかなうように、その 2015 年までの交流実施配置を整理し、双方に提案する予定です。

この中で、本年のおおきな交流としては、8月の広島ー長崎反核平和マラソンに FSGT と体育市民連帯の代表団を招待する予定です。また6月には、「エーゲ海学会」との共同交流企画として、ギリシャの古代オリンピック 4 大競技大会会場をめぐるツアーを予定しています。

さらに、昨年の取組で大きな教訓を得た、在日外国人のスポーツ交流をスポーツ活動局と共同して開催します。この取組は、東京だけでなく全国各地で取り組んで欲しいと考えています。

### 2、CSIT（国際勤労者スポーツ連合）への加盟検討

30 期総会は「IOC の承認団体である CSIT への加盟に向けた検討をおこないます」とあるように、加盟が、連盟にとって、また、国際スポーツ運動の発展にとって、どのような意義があるかの整理を行い、具体的な諸判断と手続きを進めることです。

1974 年、FSGT との交流から始まった国際交流は、スポーツ連盟に大きな財産・刺激をもたらしています。FSGT 出身の CSIT 常任理事が「FSGT における国際交流原則」との論文で、2 国間の共通の理念と活動と結びついた適切な交流のあり方が、世界的な国際交流を押し進める事例として紹介されていることは大切なことです。スポーツ連盟は、こうした取組・教訓を背景に、いよいよ、国際的なスポーツ運動の舞台に立とうとしています。CSIT に加盟することは IOC の承認団体であることを意味するといつて過言ではありません。これまでの日体協・JOC のみが、国際関係の統括団体ではありません。このことは、政府認識を変えさせるだけでなく、国内スポーツ団体の協力と共同の枠組みの変更を迫る力となるでしょう。こうした展開をすすめる可能性も広がっています。2011 年の「スポーツ宣言日本・21 世紀におけるスポーツの使命」では、「積極的な平和主義」をかけた、「国内外のスポーツ関係者とスポーツ組織、さらに国連諸機関・・・と、希望あるスポーツと地球の未来のために連携協力し、本宣言におけるスポーツの使命の達成に試みることを求められる」と述べています。スポーツ連盟の前進で、こうした機運を促進させることが重要です。

以上の重点課題を促進するためにも、全国種目組織のみならず各都道府県連盟の自らの課題として、29 決議の「国際活動をスポーツ連盟の基本的な活動として目標」から、本年は具体的実践に取り組めるようその部門の確立を期待します。

(国際活動局長 伊賀野 明)

## 終わってみれば大成功！震災支援「春休み子供スキー」

この取り組みでは「どうやって参加者を集めるか」が大きな課題でした。ところが、宮城からの申込は定員 40 名を大きく超え 127 名に。一方、岩手では 1ヶ月前になっても申込書は1枚も送られてきませんでした。

こうした状況でしたが、「スキーで子どもに笑顔を」の目標と、申込者のメモにある「雪山に行ったことも、ソリの経験もありません」「すべて流されたけど、レンタルがあるので参加できます」などコメントを見ると

しても全員を参加させたい思いで準備をしてきました。

最終的には、岩手では参加者 29 名、ボランティア 31 名、宮城では参加者 100 名、ボランティア 56 名が春休みに2日間のスキーを楽しみました。参加した子どものお母さんからは、「今日が来るのを家族で指折り数えて待っていた」「笑わなくなっていた子供が『明日もスキー楽しめるんだよね!』とつぶやいた」等の声がありました。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。(石川正三)



# 広報局の第30期活動について

文責：福島邦夫

## 広報活動の目標は

連盟の活動、理念、活動方針を交流し共有すると同時に、それらを対外的に広く宣伝すること。

## 目標を遂行・具体化するために

広報4ツール(全国通信、スポーツのひろば、号外「ニュース」、HP)をより充実させるとともに、新たな手法・手段を取り入れて連盟の姿を内外に「わかりやすく、広く、素早く、楽しく」発信していきます。

## 【第30期方針「スポーツ連盟の魅力を発信する広報活動をさらにつよめること」第30回全国総会決議】

第30期広報4ツールの取組概要は以下のとおりです。

### ①報告・連絡文「全国通信」

全国連盟の方針・情報を伝えます  
都道府県連盟の理事・運営委員に伝えます  
全国種目組織の理事・運営委員に伝えます  
理事会後に速やか(2週間後)に発行します  
より多くの役員に、閲覧・活用できるようにしていきます



### ②宣伝物「ニュース」

東北復興支援 第29回スポーツ祭典では  
祭典実行委員会と連携して作成・発行します  
スポーツ連盟のおさそい・宣伝物を制作します  
リーフレット・パンフ・ノベルティ・Internet広告など  
必要としている組織の要求に応えた支援・援助をしていきます



### ③Internet「ホームページ」

大会情報や連盟の主張・理念を発信します  
各地の活動を伝えます  
機関誌の宣伝や販売を行います  
HP開設の支援をします  
活用の強化を図っていきます



### ④機関誌「スポーツのひろば」(年10回定期発行)

地域・種目を越えた知識を共有する記事を掲載します  
連盟の理念と活動を発信します  
誌面内容をさらに充実させていきます  
2012年スローガン「見たい・読みたい・伝えたい」  
クラブに最低1人の読者実現にチャレンジします



## 広報について

全国種目組織・都道府県連盟のみなさまへ  
全国連盟にください

- ・ 広報4ツールについて、ご意見・ご要望を
- ・ HP掲載内容の追加や訂正、変更事項など
- ・ 広報に関わる自組織への支援や要望があれば
- ・ 各組織の会報・機関誌を

## ひろばについて

都道府県連盟・ひろば担当のみなさまへ  
全国連盟にお問い合わせください

- ・ 管理や発送などの業務でお困りなことがあれば
- ・ キャンペーン用宣伝誌について  
発行前月の20日までに必要冊数を  
費用は印刷実費(100~150円/冊)

## 第 30 期全国会議及び主要事業予定一覧 (2012 年 5 月～2013 年 2 月)

【2012 年】

\* 訂正・追加があれば、随時ご連絡をください

月	日	全国会議・事業	都道府県連盟・全国種目組織
5	3～5日		全国RC：稲取ランニングクリニック
	6日	国民平和大行進スタート	
	13日		フット・ア・セット全国交流（千葉）
	20日		滋賀県連盟総会 空手道演武大会（広島）
	26～27日		全国野球協：選抜野球大会（静岡・草薙球場）
	27日		四国反核平和マラソン
6	2日		神奈川県連盟総会
	3日		四国反核平和マラソン 全国RC：関西ランニングクリニック
	9～10日		全国勤労者スキー協議会総会
	10日		名古屋1周平和大好きマラソン・ウォーキング 和歌山反核平和マラソン
	16日		富山反核平和マラソン
	17日		京都反核平和マラソン 三重県連盟総会
	23日		全国ランニングセンター総会（神奈川）
			愛知県連盟総会
			第15回石川県連盟総会
	24日		和歌山反核平和マラソン
	24日		兵庫県連盟総会
		石川～福井反核平和マラソン	
7	1日		関西網の目反核平和マラソン 宮城反核平和マラソン 三重反核平和マラソン
	7日		大阪府連盟総会
	8日		兵庫反核平和マラソン 和歌山反核平和マラソン
	8日	全国スポーツ祭典登山祭典（秋田駒ヶ岳）	
	15日		千葉反核平和マラソン
	21～22日		神奈川反核平和マラソン
	22日		福岡県北九州市反核平和マラソン
	28日		東京反核平和マラソン 青森反核平和駅伝&ジョギング
8	3～5日		全国ランニングセンター：信州クリニック
	5日		愛知：鶴舞公園周回反核平和マラソン
	6日		滋賀：反核平和マラソン
	6～8日		反核平和マラソン（広島～長崎）
	25～26日	30期第2回三役会議・理事会	
9	22～23日		東海ブロックセミナー（愛知）
10	6～7日	全国スポーツ祭典ウォーキング（和歌山）	
11	3日	全国スポーツ祭典水泳大会（東京）	
	3～4日	全国スポーツ祭典バドミントン大会（愛知）	
	3～4日	全国スポーツ祭典ソフトボール大会（福島）	
	10日	全国スポーツ祭典ゴルフ大会（愛知）	
	10～11日	全国スポーツ祭典野球大会（大阪）	
	10～11日	全国スポーツ祭典テニス大会（岐阜）	
	11日	全国スポーツ祭典陸上競技大会（東京）	
	17～18日	全国スポーツ祭典サッカー大会（宮城）	
	17～18日	全国サッカー協シニアサッカー大会（宮城）	
	17～18日	全国スポーツ祭典バレーボール大会（愛知）	
	24～25日	全国スポーツ祭典卓球大会一般（青森）	
		富山県連盟総会	
12	1～2日	全国スポーツ祭典ミックスバレー大会（徳島）	
	8～9日	30期第3回三役会議・理事会	
	8～9日	全国スポーツ祭典バドミントン大会（静岡）	
	9日		愛知：高蔵寺弾薬庫1周平和マラソン
	15～16日	全国スポーツ祭典卓球大会年代別（岡山）	

【2013 年】

1		全国縦断新春マラソン（全国8ヶ所）	
2	2～3日		全国スキー協カップ
	9～10		労山評議会
	23～24	30期第1回評議員会・第4回理事会	



**【自動体外式除細動器】**

**AEDの設置場所を確認しましょう！**  
**屋外競技大会の本部にも備えましょう！**

全国連盟に1台あります。  
 全国種目・都道府県連盟にお貸しします。  
 お問い合わせください。

